

問題一 次の傍線を施した漢字の読みを平仮名で示せ。

- A いくら昨日、今日結成されたばかりのチームだとしても、侮<sup>おそ</sup>つてはいけない。  
 B 教師の責<sup>せ</sup>めを果たしてもらわなければ困るよ、君。 C 歓迎会の会場を様々な花<sup>はな</sup>で彩<sup>いろ</sup>る。  
 D この気圧配置からすれば、あしたあたり、豪雨の虞<sup>おそ</sup>いがある。  
 E 彼の生涯はいろいろ問題があつて感心できるものではないが、最期だけは潔<sup>け</sup>かつた。

問題二 次のの中から敬語の使い方が正しいものを二つ選び、符号で答えよ。

- A 商品の内容については、案内係にうかがつて下さい。 B 先生の作品を拝見しました。  
 C 課長、ゴルフはいたしますか。 D これをご利用していただくと、大変便利です。  
 E 先生はお一人で先に参られました。 F どうぞ、お召し上がりになられてください。  
 G 以前より、お求めやすくなりました。 H 失礼ですが、どなた様でしょうか。

問題三 次の慣用語やことわざ等の意味を正しく述べているものを各組の中から選び、符号で答えよ。

- A 蛇<sup>へび</sup>の道は蛇<sup>じや</sup> 1 蛇が現れる道は決まっている。 2 同類のものは互いにその方面の事情に通じている。  
 3 似たもの同士はよく集まる。 4 専門家の考えることに、素人は及びもつかない。  
 5 悪人は悪人になるべくして生まれてくる。 6 ジャ道は悪人の選<sup>せん</sup>ぶ道である。  
 B 付<sup>つか</sup>会 1 二次会 2 こじつけ 3 支部 4 言い訳 5 臨時会議 6 再会  
 C 足を出す 1 関わり合う。 2 旅に出る。 3 予算をこえる。 4 おせっかいをする。  
 5 先走つて失敗する。 6 身元が割れる。  
 D 鼻を明かす 1 正体をばらす。 2 出し抜いてあつと言わせる。 3 冷たく接する。  
 4 自慢する。 5 飽きて嫌になる。 6 秘密を漏らす。  
 E 氏<sup>うぢ</sup>より育<sup>そだ</sup>ち 1 家柄より教育・環境が大切。 2 偉人が育つのは、家名を重んずる家からである。  
 3 育ちが悪いのは、家の恥。 4 人は先祖の榮譽を引き継ぎ発展させるべきである。  
 5 どんな育ち方をしても血筋は争えないものである。 6 家系図など何の役にも立たない。

問題四 次の空欄に適した助数詞を後の語群から選び符号で答えよ。(同じ符号を二度以上使わないこと。)

- A 五【】のメールを削除した。  
 B 五【】のクジラが目の前を悠々と泳いでいる。  
 C おどろおどろしい五【】の妖怪に襲われる夢をみた。  
 D ゆうべの地震で、市内中心部の五千【】が断水した。  
 E 民芸店には、なんと熊の剥製が五【】も並んでいた。  
 F 今年に入つて、海外に出張中の父から五【】のエアメールが届いた。  
 G ジュースの空き缶が五【】捨てられてた。  
 H 公園にジャングルジムが五【】ある。

【語群】 ①個 ②体 ③通 ④匹 ⑤頭 ⑥件 ⑦戸 ⑧基

問題五 次の傍線を施した語の品詞名を記せ。

- ① いかにも困っているかのように見せかけているだけだ。
- ② そうさね。
- ③ 彼に、大きな仕事はできないよ。
- ④ とすると、もう手遅れだということだな。
- ⑤ 彼女のような独断的なやり方では、その内、みんなにそっぽを向かれるよ。

問題六 次の【I群】の④と【II群】の①と⑤の同じ構造の熟語を【II群】の①～⑤の中から選び、符号で答えよ。

- 【I群】 ④ 筆無精                      ⑤ 天地人                      ⑥ 未完成                      ⑦ 白昼夢                      ⑧ 現代風
- 【II群】 ① 機械的                      ② 序破急                      ③ 桃源郷                      ④ 不自然                      ⑤ 芸達者

問題七 次の文章を読み、後の問に答えよ。

トホウもなく古い話だが、私は明治三十年の夏、まだ大学の二年生の休みに、三河の伊良湖崎のトツタンに一月余り遊んでいて、いわゆるアユの風の経験をしたことがある。この村は(中略)伊勢湾の入り口に面して、神宮との因縁も深く、昔なつかしい形勝の地であった。村の中央には明神様の御社と清い泉とがあつて村の人の渴仰を集め、それに養われたと言われる無筆の歌人、漁夫磯丸の旧宅と石の祠とは、ちょうど私の本を読む窓と相對していた。毎朝早天の日課には、村を南へ出てわずかな砂丘を横ぎり、ミサキのとうさきの小山という魚付き林を一周して来ることにしていたが、そこにはさまざまの寄せ物の、立ち止まってじつと見ずにはおれぬものが多かった。船具や船の破片にはたまたま文字の痕があつて、遠い海上の悲しみを伝えるものがあり、一方にはまた名も知らぬいろいろの貝類をゆり上げて、「その玉もてこ」と詠じた昔の歌のフゼイを、思い起こさしむる場合もあつた。

今でも明らかに記憶するのは、この小山の裾を東へ回つて、東おもての小松原の外に、舟の出入りにはあまり使われない四、五町ほどの砂浜が、東やや南に面して開けていたが、そこには風のやや強かつた次の朝などに、椰子の実の流れ寄つていたのを、三度まで見たことがある。一度は割れて真つ白な果肉の露れているもの、他の二つは皮に包まれたもので、どの辺の沖の小島から海に泛んだものかは今でもわからぬが、ともかくも遙かなナミジを越えてまだ新しい姿で、こんな浜辺まで渡つて来ていることが、私には大きな驚きであつた。

問一 傍線部①②⑧⑭⑰のカタカナを漢字に改めよ。

問二 傍線部③④⑤⑬の漢字の読みを平仮名で示せ。

問三 傍線部⑥⑦⑨⑪⑫の意味として正しいものをそれぞれ一つずつ選び、符号で答えよ。

- ⑥ 無筆                      ア 無名作家                      イ 悪筆                      ウ 読み書き出来ない人                      エ 無学
- ⑦ 早天                      ア 明け方                      イ 晴れ模様                      ウ 早起き                      エ 青天
- ⑨ 魚付き林                      ア ミサキに飛び出す形の林                      イ 魚の繁殖・保護のための林

- ⑩ 海上の悲しみ                      ウ 地名                      エ 魚の棲む淀みをつくるための林
- ア 遠い国で起きた悲惨な事件                      イ 遠くへ流され、消息不明な人々のこと
- ウ 遠い国で故国を思う船乗りの悲しみ                      エ 遠くで難破した船の悲劇

- ⑫ 玉                      ア 魂                      イ 椰子の種                      ウ 真珠や貝殻                      エ 船を沈没させた弾丸

問四 傍線部⑩は「寄せ物」を強調した、一種の倒置表現である。これを普通の語順の文に書き改めよ。

問五 傍線部⑬の「こ」に漢字を当てはめるとすれば、次の内のどれが適当か。符号で答えよ。

- ア 子                      イ 黄                      ウ 来                      エ 小                      オ 粉                      カ 籠
- 問六 傍線部⑭と同じ意味あいを持つ「まで」が使われているのは、次の内、どの文か。符号で答えよ。

- ア あそこまで、頑張れるとは思わなかったよ。                      イ 正午までには来て下さい。
- ウ 何から何まで、お世話になりました。                      エ まずはお礼かたがたお知らせまで。
- オ 電車がないなら、歩くまでだ。

問七 傍線部⑯の「大きな驚き」の説明としてふさわしいのは次の内のどれか。符号で答えよ。

- ア 椰子の実の、想像を遙かにこえるような生命力に触れたことに対する、素直な驚き。
- イ 椰子の実が、皮に包まれたまま無事日本にたどりつくという偶然に出くわした驚き。

ウ 遠い南方の島の住民たちの生活が一個の椰子の実によつて喚起されたことへの驚き。

エ 椰子の実が、さほどの月日を経ずに南の島から日本にたどりつく事実に対する驚き。

オ まだ新鮮な椰子の実を見ることによつて日頃の憂鬱が消えてしまったことへの驚き。

問八 二重傍線を施したAとEには、ほかの四つとは違つて品詞の「」がある。それを選び、符号で答えよ。

問九 前問の答の「」を除いた残り四つの内、他と違つて文法的働きの「」はどれか。符号で答えよ。

問十 《問八》《問九》の答に当たる「」を除くと、「」は三つ残るが、この三つの「」の格は次の内のどれか。符号で答えよ。

ア 主格      イ 所有格      ウ 目的格      エ 同格      オ 連体格